

青 垣

第 8 号

発行日 平成 22 年 6 月 22 日

雲南市立吉田中学校だより

雲南市飯南町陸上競技大会 力の限り“走・跳・投” ～ 頑張る姿に感動～

第 6 回雲南市飯南町中学校陸上競技大会が 6 月 16 日(水)に、大東ふれあい運動場・陸上競技場で開催されました。大会には、9 校から 275 名の選手が集い、吉田中からは、21 名(男子 13 名・女子 8 名)の選手が参加をしました。

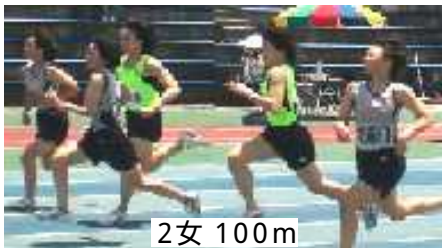
陸上大会に向けての練習は、総体が終わってからの短い期間でしたが、選手たちは、長距離走や幅跳び、バトン練習など意欲的に取り組みました。

大会当日は、空模様を心配しましたが夜半まで降っていた雨も朝には上がり、競技が始まる頃には青空が広がりました。そして、午後からは気温が高くなり、大変に蒸し暑い中での大会となりました。

その中、選手たちは「精一杯の走り」や「渾身の一投」「気合いの跳躍」で、最後まであきらめない一生懸命な姿を披露してくれました。そして、応援席からは「がんばれー」の声援が聞こえていました。



全女走幅跳



2女 100m



全男 400mR

快走！ 全男 4 × 100mR 3位

吉田中学校の大会成績の概要

種目	成績	選手名
全男 4 × 100mR	3位	内田 田村 川角 森山
低男 4 × 100mR	3位	伊藤 本田 高尾 須山
全女 4 × 100mR	5位	古居 願永 谷口 峠

種目	成績	氏名	種目	成績	氏名
全男 走幅跳	2位	田村	全男 走幅跳	3位	森山
全男 200m	5位	内田	全男 800m	5位	川角
2女 100m	5位	藤原	3男 100m	6位	田村
全男 800m	6位	岩田	1男 1500m	6位	和泉
全男 砲丸投	6位	桑原	3女 100m	7位	古居
2女 100m	7位	峠	1男 1500m	7位	高尾
全女 走幅跳	8位	願永			

選手と応援者が「一致団結」 気持ちのこもった壮行式 ～ 他校に誇れる応援風景～

陸上大会の前日に生徒会主催による壮行式が整然と行われました。市町総体の壮行式でも感じましたが、応援団の真剣な態度や眼差しに、例年以上の熱意や統率力を感じ取っています。

応援団長の多賀君を中心に、大きな声で「激励の口上」や「手拍子」を送る団員、気合いの太鼓を打ち鳴らす川角副団長。そして、全校生徒と教職員が一丸となってエールを送る姿は、本校の誇れる生徒会活動の一つだと自負しています。

生徒数が減少する中、選手と応援者が一丸となり本気で「活躍を願ったり、健闘を誓ったり」する姿は、最近では薄れがちな光景であり、今後も大切にしたいと考えています。生徒をリードする応援団は、団長と副団長は固定していますが、団員は、各部活動の代表者とクラス代表者で構成され、各大会の壮行式ごとにメンバーが替わります。団長、副団長は、常に応援する側で、自覚と責任感をもって役目を果たしています。とても凛々しく頼もしい二人です。

本校自慢の壮行式は、『他人を応援できない者は、自分を応援することはできない』の名言を思い起こさせるもので、心から他者の活躍を願う生徒の姿に、本校の生徒は、大丈夫という自信を深めています。



陸上大会 壮行式

応援で心がけていること = 応援団長 =
壮行式の応援では、選手に自信をもたすことと僕自身が大きな声を出すよう気をつけています。いよいよ大会だと緊張する選手に「自分のできることを精一杯頑張り、悔いを残さない」と自信をつけてほしいのです。そのためには、まず自分が自信を持った大きな声で、選手たちを一生懸命に応援することだと思えます。僕は、皆さんが自信をもって力を発揮してくれればと思っています。これからも、応援団をよろしくお願ひします

田井小ふれあい運動会 子供も大人“ハッスル” ～学校と家庭と地域と一緒に～

五月晴れのもと田井小学校のふれあい運動会が29日(土)に開催され、教頭先生に応援に出かけてもらいました。校庭には、児童の保護者や家族の方、そして地域の方々が多く、子ども達の活躍を見に来ておられ地域との繋がりの深さを感じました。

運動会は、全校児童29名の堂々の入場行進からスタートしました。青組・赤組ともに背筋が伸びた立派な行進に、応援の保護者の皆様や地域の皆様から大きな拍手がおくられました。開会式でのあいさつやラジオ体操もしっかりとできていました。

「いつまでもねばり強く、一人一人の限界までがんばろう」のスローガンのもと、6年生の3名が中心になった児童の皆さんの一生懸命な演技に、子供たちの運動会への意気込みを感じ取ることができました。短距離走では1・2年生が80m、3年生以上は100mを全員が一生懸命に走り抜きました。



入場行進



家族競技

長距離走では、男子も女子も最後まであきらめず全力を出し切り、田井っ子のたくましさを感じさせてくれました。頑張る皆さんの姿がとても輝いていました。児童の皆さんと一緒に走られた大人の皆さんも輝いていました。＝お疲れ様でした＝

4・6年生と家族による「田井 愛情物語」では、2本の棒でポールを運んだり、2人がフラフープの中に入り平均台を渡ったり、風船割りに挑戦しました。楽しそうな笑顔が広がる中で大接戦が繰り広げられました。1・3年生と家族による「Run!ラン

玉入れリターンズ」では、玉かごを背負って逃げる青組に、玉を投げ入れようとする赤組、子どもも大人も全力で校庭を走り回りました。

「おとぎの国にへようこそ」は、1・3年生児童による着せ替え競争で、校長先生は青組の دونالدダックに、教頭先生は赤組の ミッキーマウス に大変身でした。児童と教職員の人間関係は満点ですね。

応援合戦では、「優勝マン」が登場するなど、素晴らしいアイデアと大きな声で青組・赤組をアピールし応援する皆さんを楽しませてくれました。



青組応援



赤組応援

民谷分校区体育大会 5人の児童が主役 ～地域の皆さんが楽しく交流～

青空が広がり体育大会日和となった6月6日(日)民谷分校区体育大会が開催されました。

会場には、選手の皆さんをはじめ地域の方々が多く(約150名)応援に来ておられ活気に溢れていました。民谷分校の児童の皆さんに寄せる強い思いとともに「子どもは地域の宝」の意味を肌で感じ取ることができました。民谷分校の校庭や学校周辺は、この日のために綺麗に整備され、見上げる空には、手作りの鯉のぼりや万国旗がたなびいていました。

体育大会は、分校の児童5名を先頭に宇山地区、民谷地区の皆さんの入場行進から始まり、児童代表あいさつ、児童による選手宣誓など子どもを主役にした民谷分校区の体育大会がスタートしました。



600m競争



親子競技

最初のラジオ体操では、朝の爽やかな空気を胸一杯に吸いながら、地域の皆さんと楽しく体をほぐしました。100m競争では、児童1名と地域の大人2名が一緒になり、5組がスタートしました。5名の児童は、全員が大人を振り切り1等賞でした。応援席からは「大人のハンデは、えらだったの」との声が聞こえてきました。＝皆さん頑張りました＝

親子ふれあい種目では、子どもがフラフープを並べて作った道を親が渡ったり、網に入った2個のボールを親子で蹴ったり、最後は親が子どもをオンブやダッコをして走るなど愛情いっぱいの競技でした。祖父母孝行ゲートボールリレーでは、児童が顔見知りのお爺さんやお婆さんが、5m先のゲートを目がけ打った球を拾って返す役割を元気よく行っていました。そのやり取りがとても微笑ましく、地域での様子を垣間見ることができました。校庭には、お婆さんの「あらまー」の声や、子ども達の「おしいよ」「がんばって」などの声が響いていました。

児童たちと教職員・来賓・地域の皆さんが混じり合った綱引きに私も参加しました。最初は手加減をしていましたが、徐々に本気モードに、三本目は青筋を立てて必死に引っ張っていました。



みんなでジャンプ